

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第11回

1. 実施日

令和4年10月22日（土）1、2限

2. 場所

1棟 多目的教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 山中脩平 藤原久美子 中村啓介 三嶋千代子
卒業生TA

5. 内容

① ポスター発表当日の流れについて

- ・各チームの発表は「7分発表・5分質疑応答・3分移動」の15分1セット。
- ・1セット×4回転とする（3人・5人チームはチーム内で相談）。
- ・今まではプレゼンテーションソフトで発表を行っていたが、ポスターセッションになることを踏まえて心づもりをする。

② 「研究報告書」Ver.2=ポスター完成

- ポスターの内容をチームでチェックする。
 - 何を伝えたいかが明確になっているか？
 - フォントの種類が統一されているか？フォントの大きさは適切か？
 - 図や表の活用、デザインも含め、見やすいものになっているか？
 - 引用文献・参考文献をRQごとに示しているか？

③ ポスターセッションに向けての準備

- 発表原稿や想定問答集を作成する。発表練習をする。
- 発表内容をチームでチェックする。
 - 時間が守られているか？（発表時間6分）
 - 原稿を読み上げるだけになっていないか。
 - 発表の態度は良いか。（声の大きさや抑揚、目線など）
 - 質問者の意図を理解したうえで質疑応答を行っているか。

④ ポスター印刷

⑤ 発表練習

教室の前後で、班ごとに発表練習
* T Aの方々に助言をいただく。

6. 学び

「研究報告書」＝ポスターの作成をとおして、①研究内容を明確にすること、②RQを論理的につなげること、③図、表を効果的に使うこと、④引用文献、参考文献を明記することを学習する。

7. 次回への課題

ポスターセッション(11月5日)を行う。オーディエンスからの質問や、講師・T Aからの助言・評価内容を受けて研究内容をブラッシュアップする。

8. 本時の振り返り

この授業では、11月5日(土)に実施されるポスターセッション(課題研究中間発表会)のための発表用ポスターを作成した。また、ポスターセッションでの質疑応答のために想定問答も考えた。T Aの本校卒業生の学習者への関わり方が、すばらしかった。学習者の悩みに寄り添ったり、自分の経験から考えを述べて学習者の探究の後押しをしたりと、それぞれの得意分野や個性を生かして指導していた。繰り返し参加しているT Aの指導スキルが向上していることも観察できる。次年度以降も卒業生T Aの活用を継続したい。

